

受付番号： 2022-1-344

課題名：頭頸部癌における高齢者機能評価スクリーニングツールの有用性の検討

1. 研究の対象

2015年6月から2017年3月まで東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科で診断治療を行った70歳以上の頭頸部癌の方

2. 研究目的・方法

高齢者がん治療においては、患者を個別に評価すべきであり、同年齢であっても治療が可能である患者様から、不可能な患者様まで幅広く存在し、年齢のみでは、評価できない問題点があります。高齢者機能評価スクリーニングとして、G8、fTRSTなどのスクリーニングツールが使われており、臨床応用が期待されています。今回、70歳以上頭頸部癌患者様において、G8、fTRSTなどのスクリーニングツールの評価と治療内容、予後とを比較検討することで、今後の指標となりうるか検討を行い、将来の高齢者頭頸部癌治療に進歩に役立てようとする研究です。2015年6月から2017年3月まで東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科で診断治療を行った70歳以上の頭頸部癌患者様80名を対象とし、カルテ情報(患者背景、病理組織診断、病理診断、治療法など)と高齢者スクリーニング(G8、fTRSTの2種のGAスクリーニングツール)を比較し、治療内容、予後と高齢者スクリーニングの相関について検討します。研究期間は西暦2017年5月から2024年4月を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ情報(患者背景、病理組織診断、病理診断、治療法など)と高齢者スクリーニング(G8、fTRSTの2種のGAスクリーニングツール)等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

本学単独研究

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

東北大学病院

耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師 大越 明

仙台市青葉区星陵町1-1

022-717-7304

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求
することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口と
なります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知ら
せ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開
室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページを閲覧

ださい。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合